

演奏家の衣装を藍染め



青い海と
森の
音楽祭

10/31-11/8

10月31日に開幕する「青い海と森の音楽祭」（東奥日報社などで行う実行委員会主催）のアウトリーチ（出前演奏会）向けの衣装の藍染め作業が9日、青森市のあおもり藍産業で始まった。

今年は芸術総監督の指揮者沖澤のどかさん（同市出身）ら演奏家8人が県内5カ所のアウトリーチを行い、昨年の藍染めポロシャツからトレーナーに装いを



替えて極上の音色を届ける。

この日は東奥日報社の女性倶楽部「女子〇（ジョシマル）」の会員ら10人が、あおもり藍産業社員の指導を受けながら染色作業を行った一写真。8月に収穫した藍の葉などが入った染め液に真っ白なトレーナーをくぐらせ、5分かけて襟や袖まで丁寧に染み込ませた後、水洗いをする一連の染色工程を繰り返した。

昨年から15回以上藍染め作業を手伝ったという青森市の田村ふみ子さんは「心を込めて染めました。藍染めトレーナーを着て気持ち良く演奏してほしい」と額に汗を光らせながら話した。染色作業は11日まで続く予定。

（葛西憲悟）